

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	予防接種後副反応報告制度事業費 (旧予防接種後副反応・健康状況調査事業費)		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林 督章		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・「定期の予防接種の実施について」 ・「定期のインフルエンザ予防接種の実施について」 ・「予防接種後健康状況調査の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	予防接種後の副反応報告を法定化し、薬事制度上の副反応等報告と一元的に取扱うための新たな副反応報告制度を構築し、安全性・有効性の高い予防接種体制の確立を図るとともに、予防接種後副反応に関する情報を収集・分析し、その結果を広く公表することにより予防接種に対する国民の理解を促すことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①予防接種副反応報告整理・調査事業費 予防接種後の副反応報告を法定化し、薬事制度上の副反応等報告と一元的に取扱うとともに、個々の副反応の評価を実施することとしており、これを独立行政法人医薬品医療機器総合機構で情報整理・調査を実施する。 ②予防接種副反応報告システム導入・運用経費 予防接種副反応報告整理・調査を実施するためのシステム導入・運用経費。 ③予防接種台帳システム化検討経費 市町村で保管されている予防接種台帳のシステム化について検討する経費 ④予防接種後副反応・健康状況調査事業費 予防接種後副反応の発生状況を正確に把握し今後の適切な予防接種行政の遂行に資するため、予防接種後副反応に関する健康状況調査を実施し、その集計結果を市町村及び医療機関等に提供することにより、より安全な予防接種の実施を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	23	23	21	21	122	
	執行額	20	25	18	/			
	執行率(%)	87.0%	108.7%	86.0%	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	予防接種関係者の理解度を数値化し、成果目標に設定することは困難。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	予防接種後副反応報告書、予防接種後健康状況調査集計報告書の作成		活動実績 (当初見込み)	冊	2	2	2	-
				(2)	(2)	(2)	(2)	
単位当たりコスト	10,253,500 (円/冊)		算出根拠	予算額を報告書の作成数で除して算出。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.1	0.1					
	委員等旅費	0.3	0.3					
	医薬品審査等業務庁費	20	29					
	社会保障関係情報化業務庁費	0	18					
	医薬品副作用等被害救済事務費等補助金	0	75					
	計	21	122					

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況調査を把握する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況調査を把握する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額随意契約で行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりのコストの削減は困難であるが、引き続き節減に努める。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況調査を把握する事業を実施するための委託費等であり、真に必要な費目を対象経費としている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況把握のため、年間約8万人を対象に調査を行っており、で他の手段に比べて実効性の高い手段となっている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	当初見込みどおりの活動実績となっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予防接種後副反応に関する情報を収集・分析し、その結果を広く公表するものであり、これまでも見込みどおり実施できている。引き続き、事業を円滑に実施するために予算の確保が必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、毎年度恒常的に不用が生じているものの、予防接種後の副反応報告を法定化し、薬事制度上の副反応等報告と一元的に取扱うための新たな副反応報告制度の構築に必要な事業であり、事業内容及び予算規模を維持すべきであるが、引き続き、効率的な予算執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	-		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0142	平成23年行政事業レビュー	0121

厚生労働省 18百万円

予防接種後副反応の発生状況を正確に把握し、今後の適切な予防接種行政の遂行に資するため、予防接種後副反応に関する健康状況調査を実施し、その集計結果を市町村及び医療機関等に提供することにより、より安全な予防接種の実施を図る。



【支出】

A.都道府県(47) 18百万円

〔 予防接種後健康状況調査を実施 〕

事務費 0.13百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

A.福岡県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	予防接種後副反応・健康状況調査	0,9			
計		0,9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	予防接種後健康状況調査	0.9		
2	大阪府	予防接種後健康状況調査	0.7		
3	北海道	予防接種後健康状況調査	0.5		
4	兵庫県	予防接種後健康状況調査	0.5		
5	京都府	予防接種後健康状況調査	0.5		
6	愛知県	予防接種後健康状況調査	0.5		
7	宮城県	予防接種後健康状況調査	0.4		
8	岩手県	予防接種後健康状況調査	0.3		
9	秋田県	予防接種後健康状況調査	0.3		
10	山形県	予防接種後健康状況調査	0.3		